

環境実績報告

工場名：長野工場

報告範囲：長野工場

所在地：長野県上伊那郡箕輪町大字三日町482-1

報告対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 武藤 克寿（環境保全部・生産技術部 次長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2014年度目標
1	地球温暖化防止対策	CO2の排出量 1%抑制（2012年度・原単位比）	月平均＝108.9 t-CO2/m ³ 、3.2%削減	○	CO2の排出量 1%抑制（2013年度・原単位比）
		電気エネルギー使用量 1%削減（2012年度・原単位比）	月平均＝186.5 kWh/m ³ 、2.6%削減	○	電気エネルギー使用量 1%削減（2013年度・原単位比）
2	省エネルギーの推進／水資源の削減	井水使用量 1%削減（2012年度・原単位比）	月平均＝4.37 m ³ /m ³ 、1.27%増加	×	井水使用量 1%削減（2013年度・原単位比）
3	廃棄物の削減	総排出量 1%削減（2012年度・原単位比）	月平均 22.6 kg/m ³ 、5.7%削減	○	総排出量 1%削減（2013年度・原単位比）
4	緊急事態の発生抑制	製造工程における排水トラブルの発生予防への取り組みとパトロール実施（通常外廃液の排出、薬品漏えいなど）	0件【達成】	○	製造工程における排水トラブルの発生予防への取り組みとパトロール実施（通常外廃液の排出、薬品漏えいなど）
		労働災害の発生抑制 目標値：休業4日以上 0件、その他 10件以下	0件（-1）／4件【達成】	○	労働災害の発生抑制 目標値：休業4日以上 0件、その他 10件以下
		災害等緊急事態対策の検討及び実施 （配管、配電図を含む工場図面の整備）	各種図面類見直し実施 ハザードマップ作成完了【達成】	○	災害等緊急事態対策の検討及び実施 （配管、配電図を含む工場図面の整備）
5	化学物質管理体制の確立	作業主任者および法定資格者の適正配置と管理強化継続	11名養成（-4名）	○	作業主任者および法定資格者の適正配置と管理強化継続
6	地域調和活動及びボランティアの推進	環境調和活動及びボランティアへの参加推進	各種イベント参加、協賛金等	○	環境調和活動及びボランティアへの参加推進

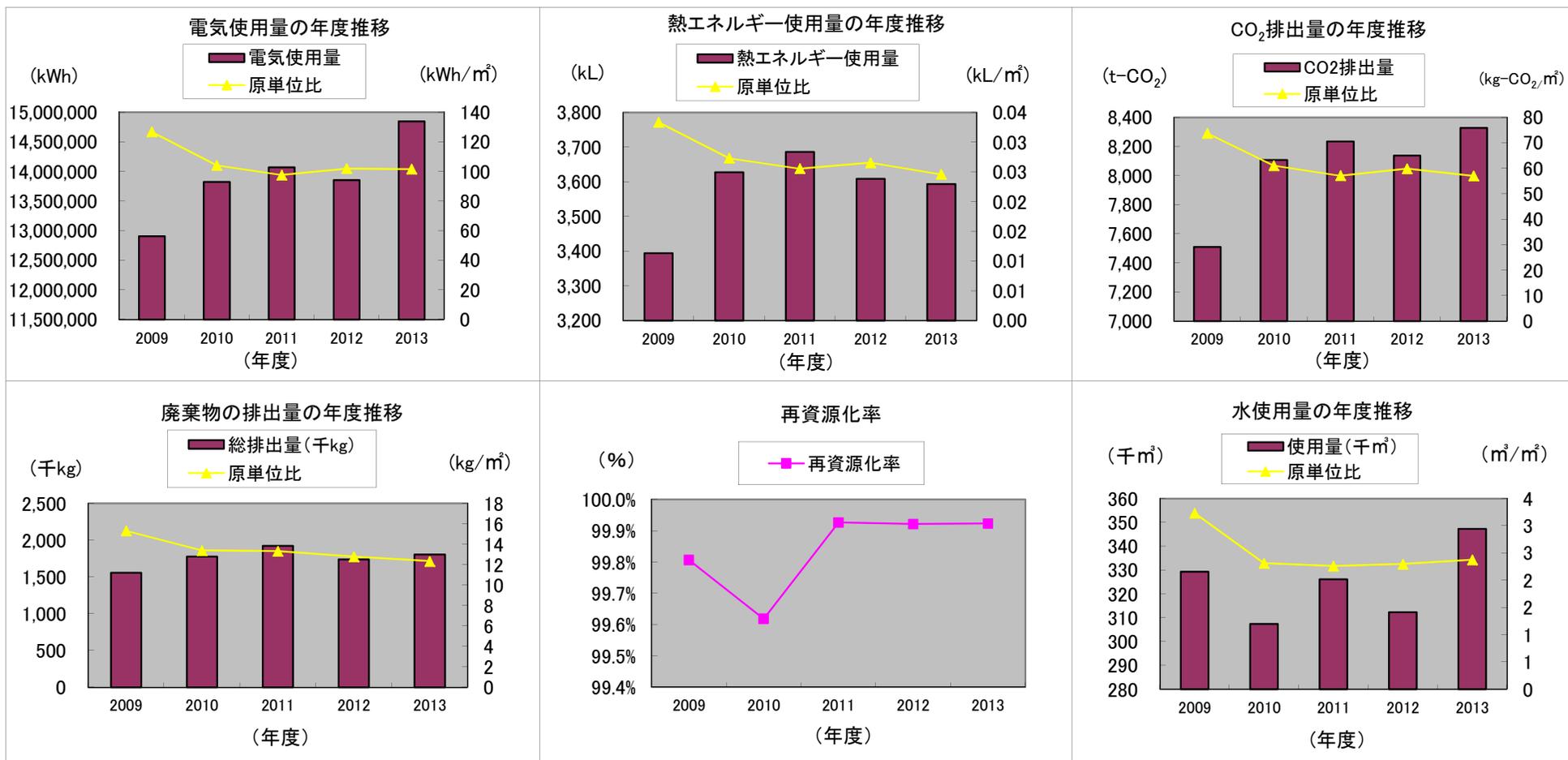
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 5 国内工場のPRTRデータは、各行政自治体への届出数値（有効数字2桁）です。タイ工場はPRTR法規制対象外のため、報告から除外しています。
- 6 大阪工場は、2013年度に美原工場・堺工場を集約し稼働開始しています。その為に2012年度以前のデータがありませんので、2013年度は目標値を設定していません。
- 7 横浜工場の熱エネルギー使用量は今年度報告分より電気使用量を追加致しました。そのため2012年度以前の数値につきましても電気使用量を追加した数値に修正致しました。
- 8 横浜工場CO₂排出量の2012年度以前の数値に誤りがありましたので修正致しました。修正の結果は過去の集計報告にはほとんど影響がない内容でした。

環境負荷データ

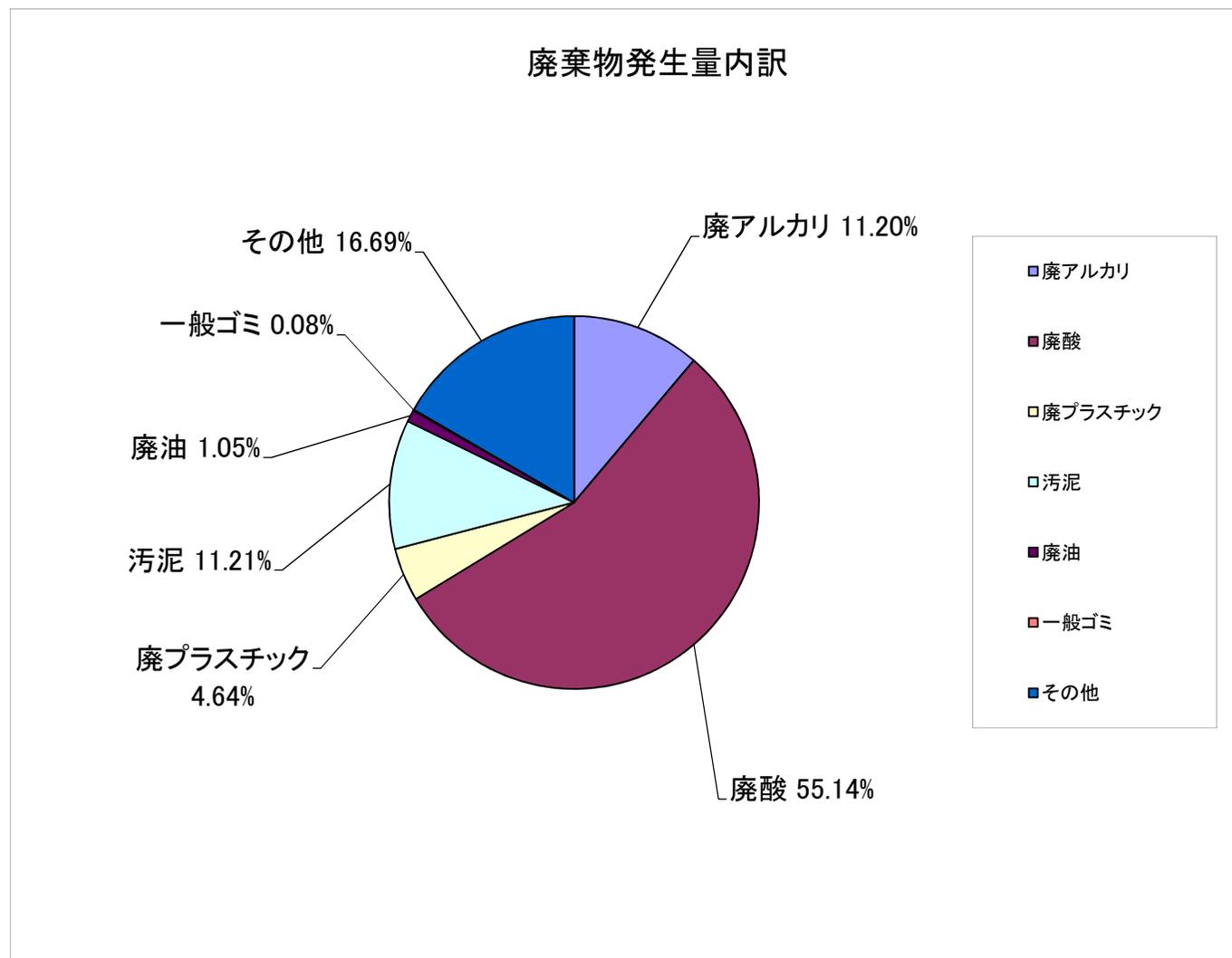
工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果(最大値、括弧内は法規制基準値)						
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	COD	SS 浮遊物質 量	n-ヘキサン (鉱油類)	n-ヘキサン (動植物油 類)	大腸菌群数
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³
長野工場	14,844,197	3,594	8,328	1,803	1,802	347	7.3-7.9 (5.8-8.6)	20(30)	28(30)	15(50)	1未満 (5)	1未満 (30)	0(3000)

CO₂排出係数: 0.561(電気)



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	202	11.20%
廃酸	994	55.14%
廃プラスチック	84	4.64%
汚泥	202	11.21%
廃油	19	1.05%
一般ゴミ	1	0.08%
その他	301	16.69%
合計	1,803	100%



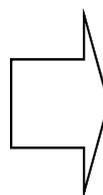
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1,420	0.5	81.2	0.0	0.0	81.7	0.0	1,359	1,359
71	塩化第二鉄	484,500	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	72,758	0.0	134.9	0.0	0.0	134.9	0.0	0	0
291	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	252	0.1	6.6	0.0	0.0	6.7	0.0	252	252
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	4,124		0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	4,124	4,124
411	ホルムアルデヒド	34,326		11.7	0.0	0.0	11.7	0.0	34,314	34,314
	合計	597,380	0.6	235.3	0.0	0.0	235.9	0.0	40,049	40,049

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,484 万kWh
重油	0 kL
灯油	53 kL
軽油	3 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	33 km ³
資源	
地下水	347 千m ³
上水・工水	5 千m ³
基板コア材	159,109 m ²
段ボール	28 t
化学物質	
PRTR物質	597 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	8,328 t-CO ₂
水域	
河川	313 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	1,802 t
最終処分量	1 t
PRTR物質移動量	40 t

製品	
プリント配線板	79,611 m ²

※出荷面積

環境実績報告

工場名：横浜工場

報告範囲：横浜工場

所在地：神奈川県横浜市都筑区川和町280番地

報告対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 高橋 浩太郎（取締役 生産技術部 部長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2014年度目標
1	地球温暖化防止対策	電気エネルギー使用量1.0%削減	8.741kWh/m ³ 、17.3%削減	○	電気エネルギー使用量1.0%削減
		都市ガス使用量1.0%削減	0.462m ³ /m ³ 、9.7%削減	○	都市ガス使用量減少により目標対象非該当
2	省エネルギーの推進/水資源の削減	上水使用量1.0%削減	0.074m ³ /m ³ 、13.9%削減	○	上水使用量0.1%削減
3	廃棄物の削減	廃棄物量1.0%削減	2.817kg/m ³ 、8.1%削減	○	廃棄物量0.1%削減
4	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 目標値 休業4日以上:0件/年、その他:5件以下/年	休業4日以上:0件/年、その他:3件/年	○	休業4日以上:0件/年 その他:5件以下/年
5	化学物質管理体制の確立	作業主任者・法定資格者の見直し、配置図見直し	検査課において作業主任者1名補充し、配置図の見直しを実施	○	作業主任者および法定資格者の異動、配置替えによる見直し、資格者の補充
6	地域調和活動の推進	環境調和活動及びボランティアへの参加推進	工場近隣の美化活動8回実施 横浜市環境保全活動に参加(10月)	○	工場近隣の美化活動推進

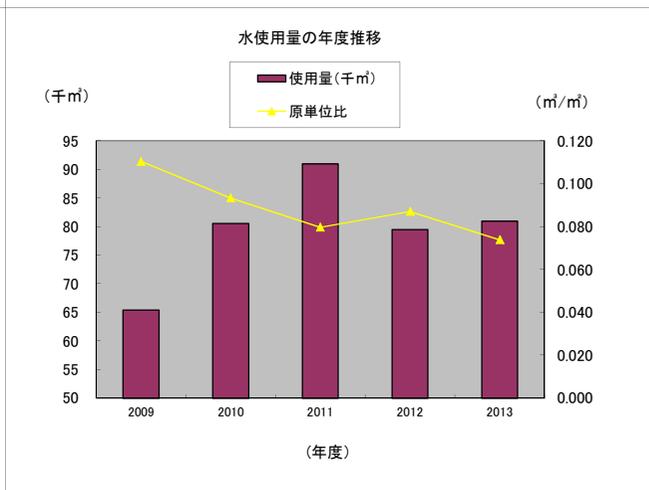
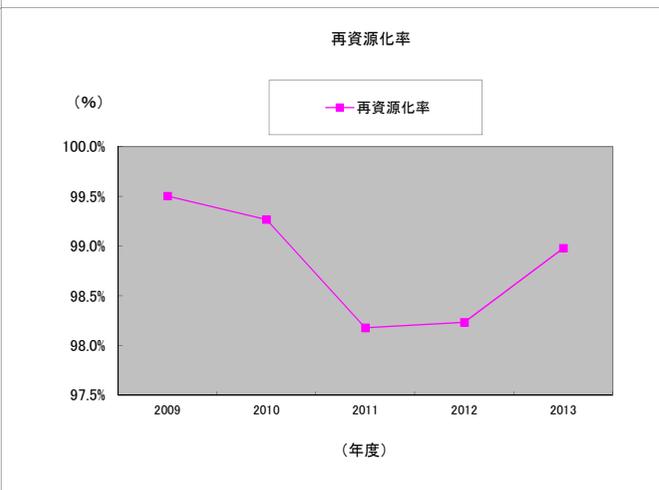
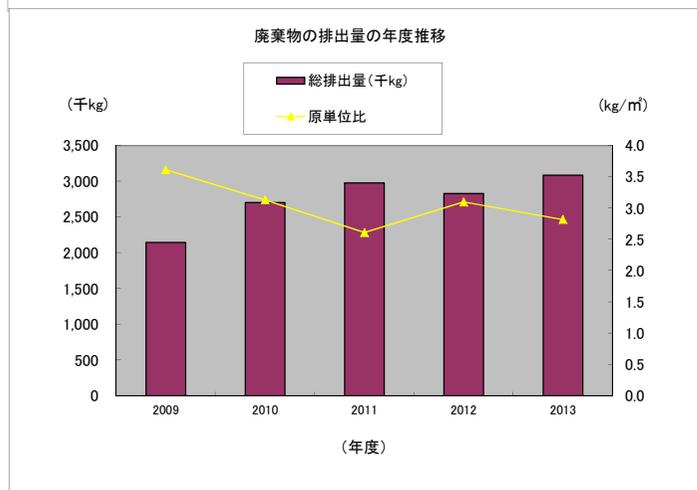
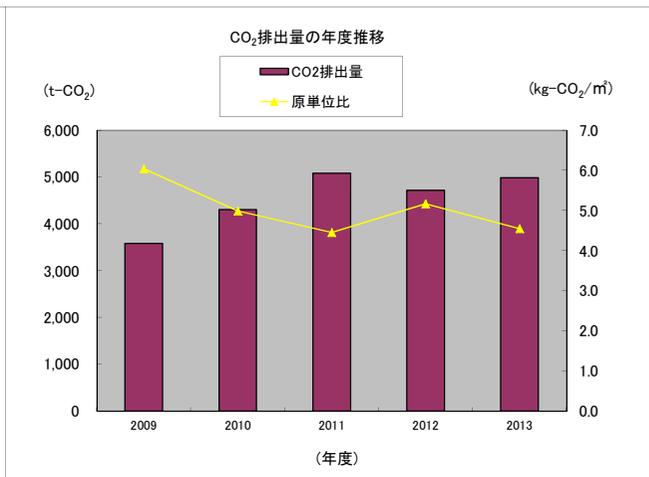
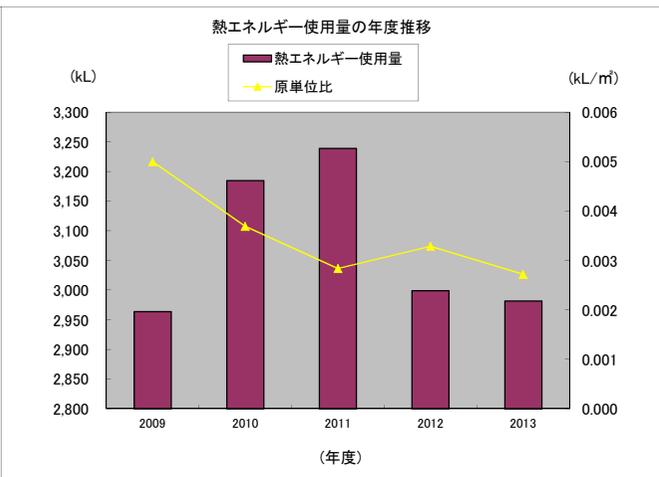
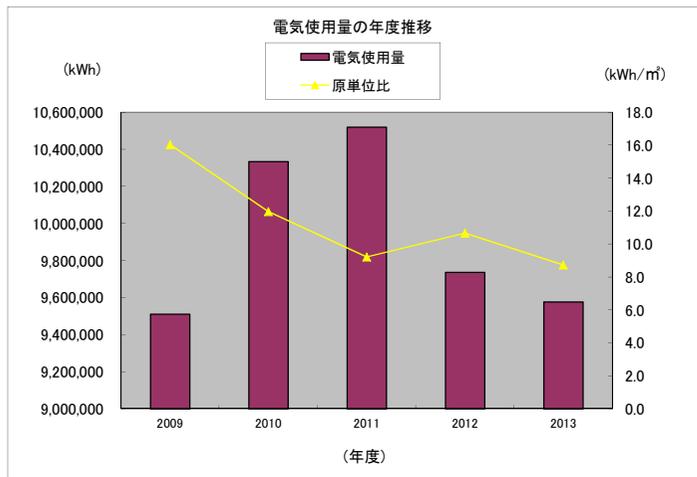
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 5 国内工場のPRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。タイ工場はPRTR法規制対象外のため、報告から除外しています。
- 6 大阪工場は、2013年度に美原工場・堺工場を集約し稼働開始しています。その為に2012年度以前のデータがありませんので、2013年度は目標値を設定していません。
- 7 横浜工場の熱エネルギー使用量は今年度報告分より電気使用量を追加致しました。そのため2012年度以前の数値につきましても電気使用量を追加した数値に修正致しました。
- 8 横浜工場CO₂排出量の2012年度以前の数値に誤りがありましたので修正致しました。修正の結果は過去の集計報告にはほとんど影響がない内容でした。

環境負荷データ

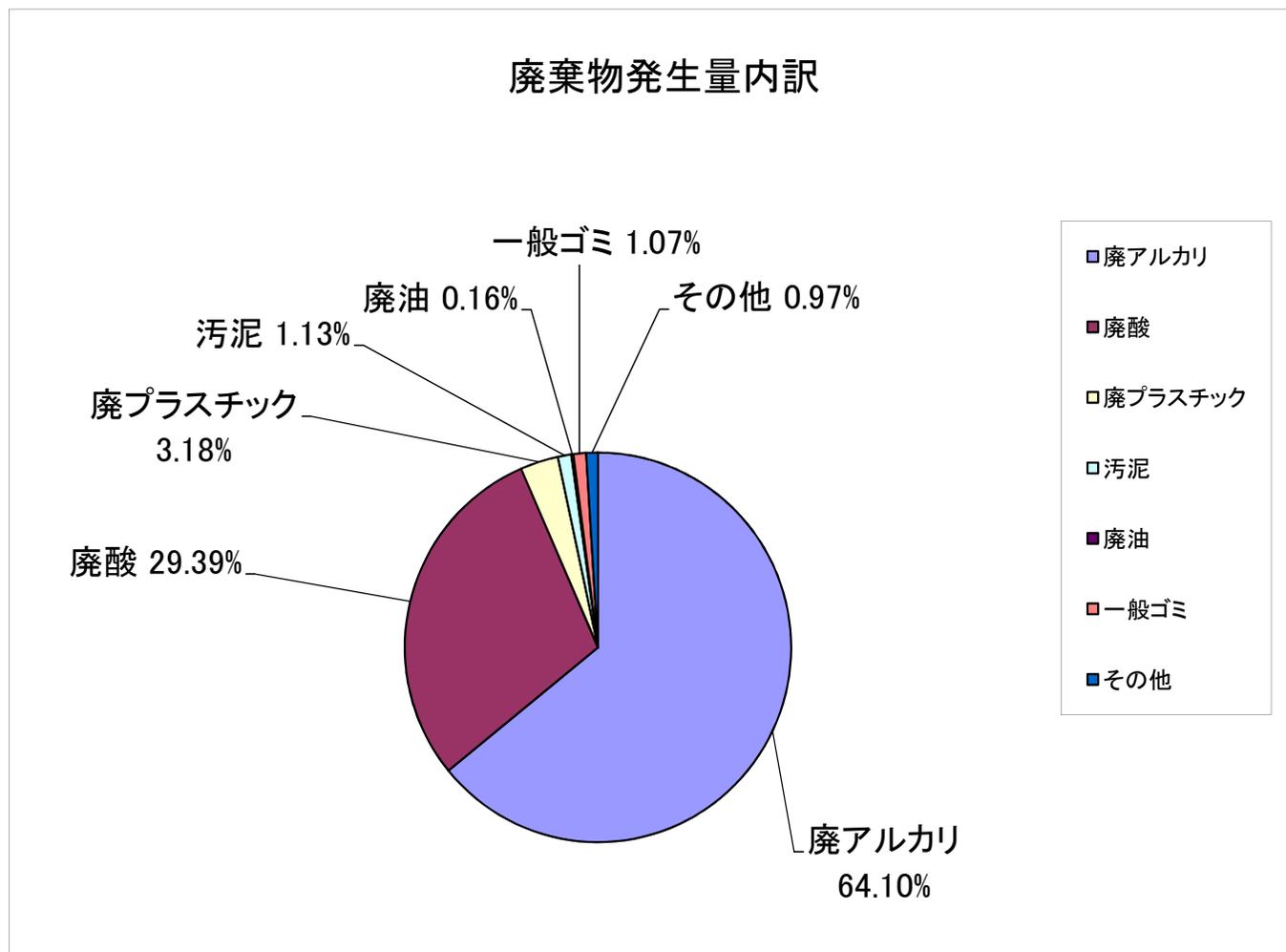
工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果													大気の測定実績				
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS 浮遊物質量	n-ヘキサ ン(鉱油 類)	D-Mn 溶解性マン ガン含有 量	D-Fe 溶解性鉄 含有量	T-N 全窒素含 有量	T-P 全リン含 有量	Cu	Ni	Cn	Pb	B	NH4N	特定施設名: ボイラー1号機 ボイラー2号機		特定施設名: 冷温水発生機R-1 冷温水発生機R-2 冷温水発生機R-4	
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千㎡)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)	Nox(ppm)
横浜工場	9,576,414	2,982	4,984	3,086	3,055	81	6.1(5-9)	68(600)	3(600)	1未満(5)	0.05未満 (1)	0.2未満 (3)	5.9(120)	0.28(16)	0.47(1)	0.1未満 (1)	0.1未満 (1)	0.01未満 (0.1)	0.05(10)	3.1(380)	45(90)	1未満(138200)	36(90)	1未満(138200)

CO₂排出係数:0.406(電気)



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	1,978	64.10%
廃酸	907	29.39%
廃プラスチック	98	3.18%
汚泥	35	1.13%
廃油	5	0.16%
一般ゴミ	33	1.07%
その他	30	0.97%
合計	3,086	100%



PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
53	エチルベンゼン	1,156	810	0	0	0	810	0	170	170
80	キシレン	1,156	49	0	0	0	49	0	170	170
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	60,818	0	0	0	0	0	12	41,000	41,012
411	ホルムアルデヒド	2,930	29	0	0	0	29	0	210	210
	合計	66,059	888	0	0	0	888	12	41,550	41,562

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	958 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	501 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	81 千m ³
基板コア材	56,254 m ²
段ボール	11 t
化学物質	
PRTR物質	66 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	4,984 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	76 千m ³
廃棄物	
再資源化量	3,055 t
最終処分量	31 t
PRTR物質移動量	42 t

製品	
プリント配線板	45,694 m ²

※出荷面積

環境実績報告

工場名：いわき工場、茨城工場

報告範囲：いわき工場、茨城工場

所在地：いわき工場(福島県いわき市好間工業団地22-5)
茨城工場(茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺644-12)

報告対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 芳賀 孝浩 (執行役員 技術部 部長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2014年度目標
1	省エネルギーの推進	エネルギー原単位 1%削減(2012年度・原単位比)	3.6%増加	×	エネルギー原単位 1%削減(2013年度・原単位比)
2	廃棄物の削減	廃棄物の排出量 1%削減(2012年度・原単位比)	9.6%削減	○	廃棄物の排出量 1%削減(2013年度・原単位比)
3	資源有効活用	コピー用紙使用量 5%削減(2012年度・使用量比)	3.3%増加	×	コピー用紙使用量 5%削減(2013年度・使用量比)
4	製品含有化学物質管理の推進	環境品質不適合発生0件	環境品質不適合発生なし	○	環境品質不適合発生0件

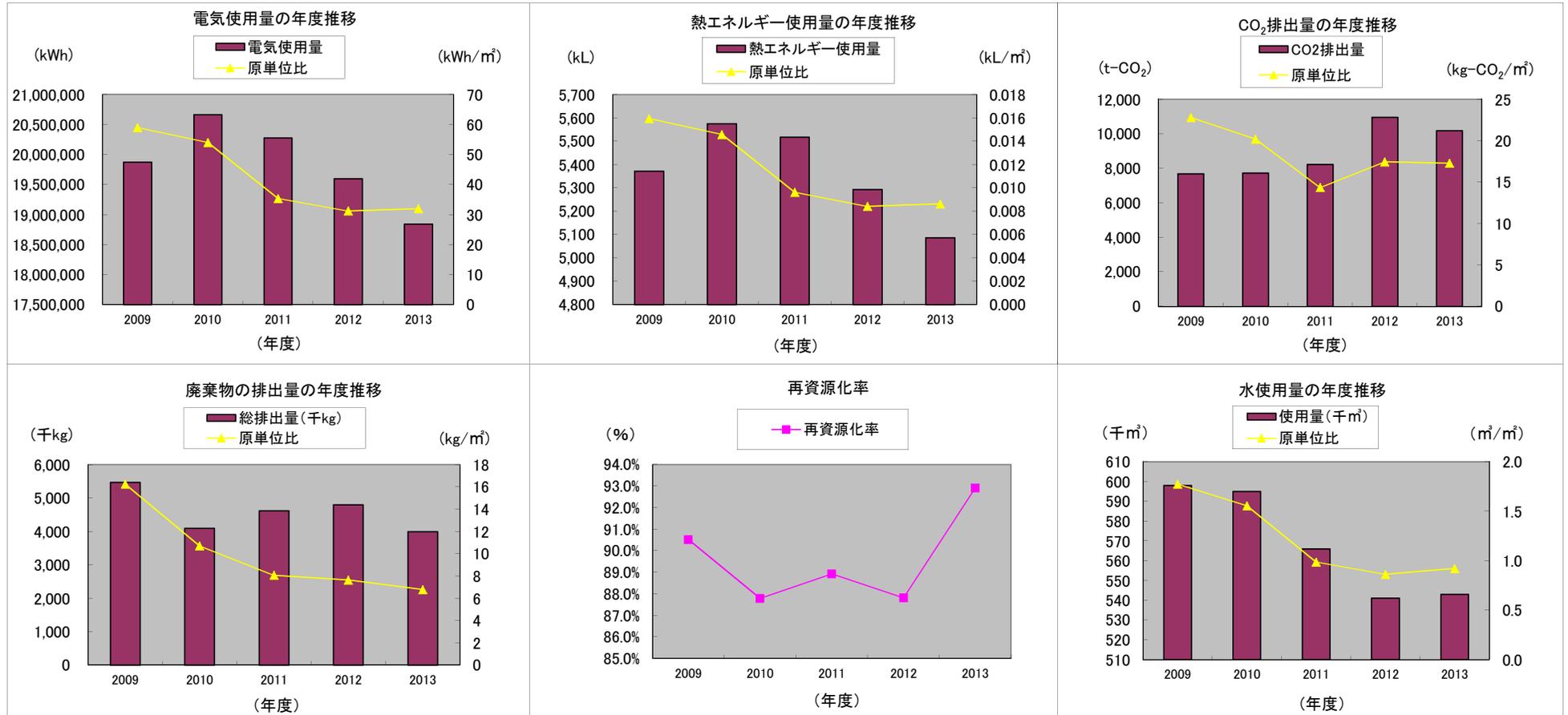
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 5 国内工場のPRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。タイ工場はPRTR法規制対象外のため、報告から除外しています。
- 6 大阪工場は、2013年度に美原工場・堺工場を集約し稼働開始しています。その為に2012年度以前のデータがありませんので、2013年度は目標値を設定していません。
- 7 横浜工場の熱エネルギー使用量は今年度報告分より電気使用量を追加致しました。そのため2012年度以前の数値につきましても電気使用量を追加した数値に修正致しました。
- 8 横浜工場CO₂排出量の2012年度以前の数値に誤りがありましたので修正致しました。修正の結果は過去の集計報告にはほとんど影響がない内容でした。

環境負荷データ

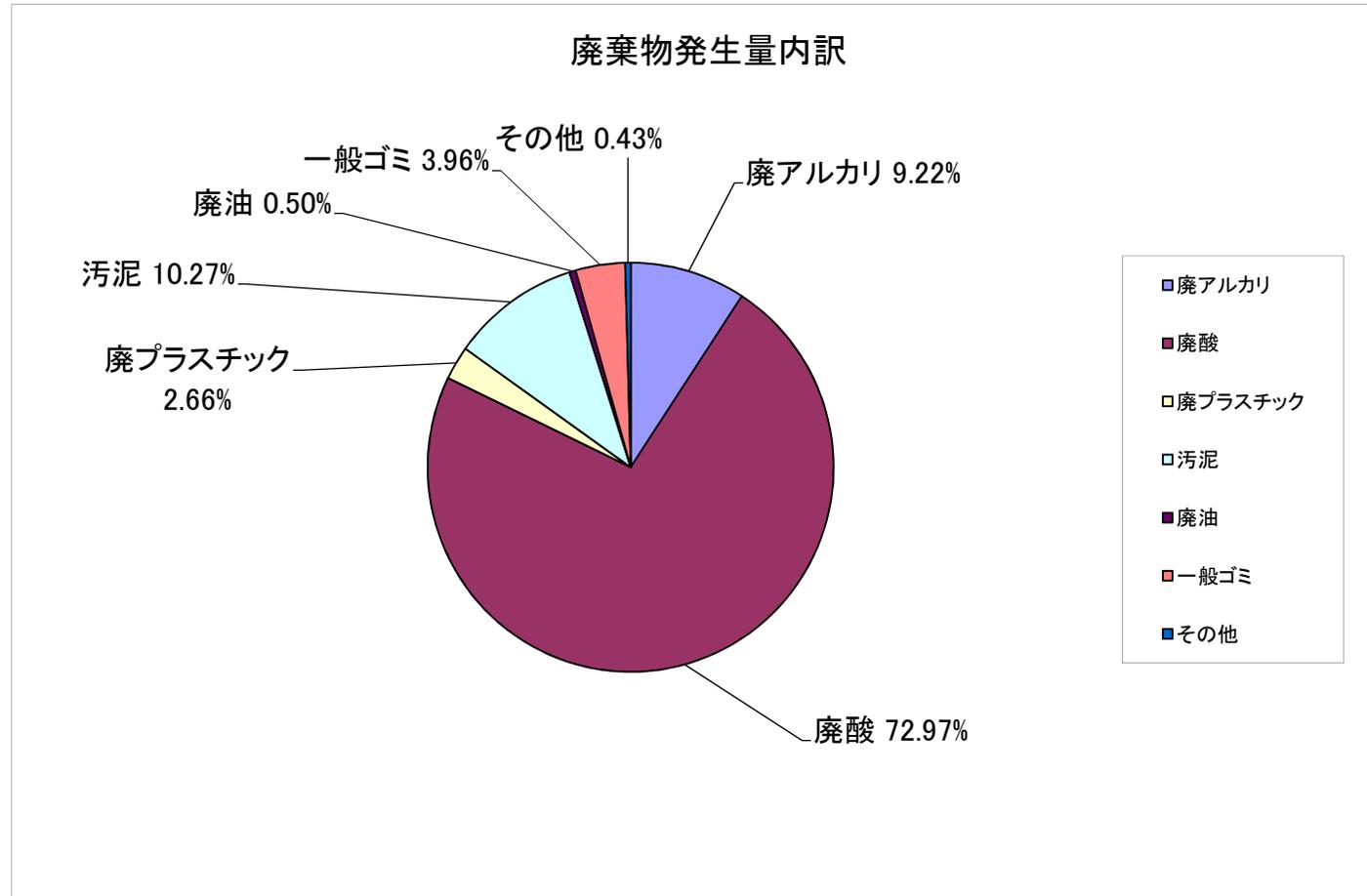
工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果								大気の測定実績			
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS 浮遊物質 量	n-ヘキサン (鉱油類)	n-ヘキサン (動植物油 類)	D-Fe 溶解性鉄 含有量	D-Mn 溶解性マン ガン含有量	Cu	特定施設名: 蒸気ボイラーNo.1 特定施設名: 蒸気ボイラーNo.2			
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)	硫酸化物K値
いわき工場	18,843,302	5,086	10,180	3,992	3,709	543	7.8(6-8)	11.5(12)	9.8(30)	-	-	0.5(8)	-	0.4(1.5)	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し
茨城工場							7.6(5.8-8.6)	21(25)	1.2(40)	<0.5(5)	<0.5(10)	0.1(10)	0.3(10)	0.06(3)	該当無し	該当無し	該当無し	0.32(13)

CO₂排出係数: いわき工場_0.560(電気)、茨城工場_0.406(電気)



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	368	9.22%
廃酸	2,913	72.97%
廃プラスチック	106	2.66%
汚泥	410	10.27%
廃油	20	0.50%
一般ゴミ	158	3.96%
その他	17	0.43%
合計	3,992	100%



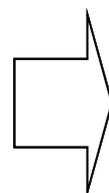
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1,006	0	0	0	0	0	0	1,006	1,006
71	塩化第二鉄	706,803	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	67,522	0	0	0	0	0	0	1,122	1,122
300	トルエン	5,527	4,422	0	0	0	4,422	0	1,105	1,105
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	4,750	0	0	0	0	0	0	4,750	4,750
405	ほう素化合物	1,300	0	0	0	0	0	0	1,300	1,300
4	ホルムアルデヒド	3,193	0	0	0	0	0	0	3,193	3,193
	合計	790,101	4,422	0	0	0	4,422	0	12,476	12,476

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,884 万kWh
重油	282 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	32 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	543 千m ³
基板コア材	334,764 m ²
段ボール	26 t
化学物質	
PRTR物質	790 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	10,180 t-CO ₂
水域	
河川	540 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	3,709 t
最終処分量	283 t
PRTR物質移動量	12 t

製品	
プリント配線板	265,754 m ²

※出荷面積

環境実績報告

工場名：大阪工場、貝塚工場

報告範囲：キョウデン大阪

所在地：大阪工場(大阪府泉大津市臨海町1-4-2)

貝塚工場(大阪府貝塚市二色中町6-7)

報告対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 中 敏彦(環境課 課長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2014年度目標
1	地球温暖化防止対策	電気使用量の削減(前年度比1%削減)	4.6%削減	○	電気使用量の削減(前年度比1%削減)
		CO2排出量の削減(前年度比1%削減)	5.5%削減	○	CO2排出量の削減(前年度比1%削減)
2	省エネルギーの推進/水資源の削減	水使用量の削減(前年度比1%削減)	6%増加	×	水使用量の削減(前年度比1%削減)
3	廃棄物の削減	廃棄物の削減(前年度比1%削減)	12.2%削減	○	廃棄物の削減(前年度比1%削減)

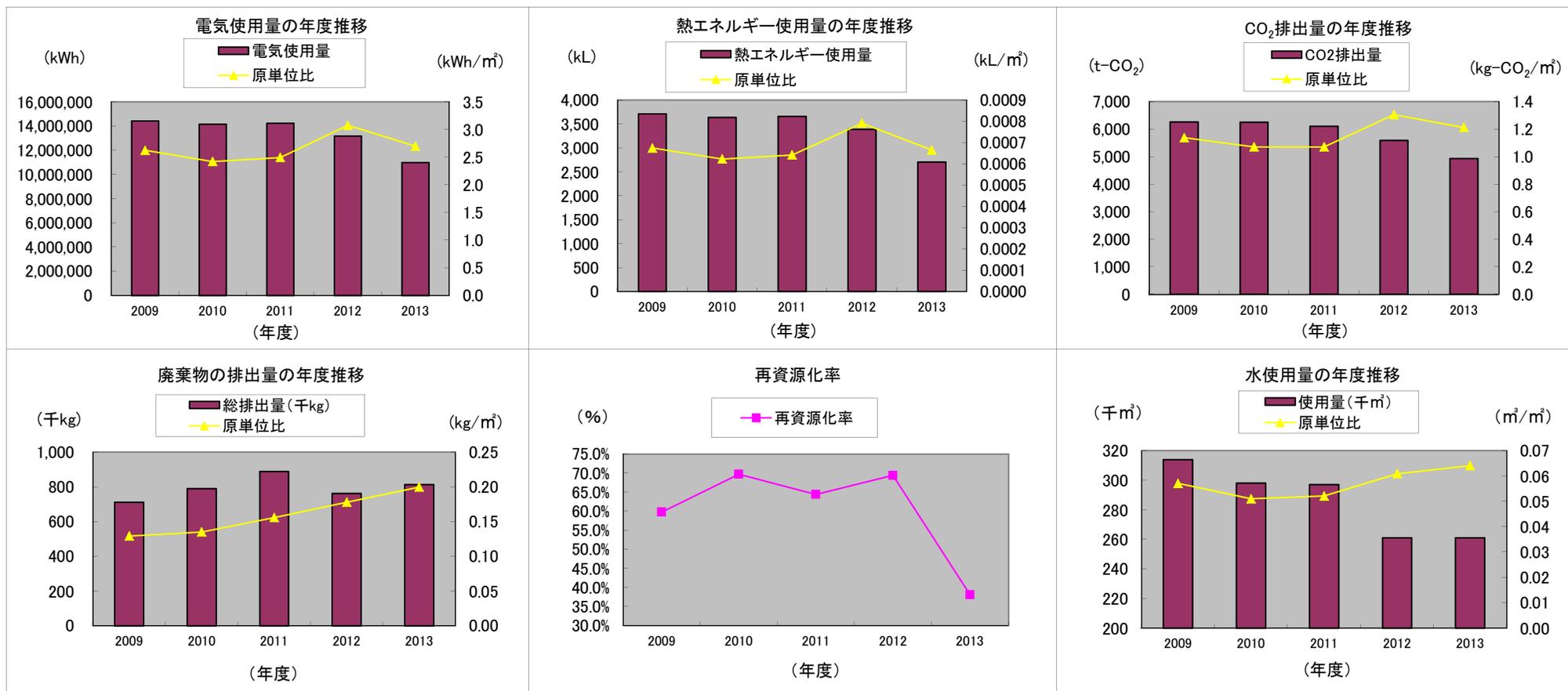
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 5 国内工場のPRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。タイ工場はPRTR法規制対象外のため、報告から除外しています。
- 6 大阪工場は、2013年度に美原工場・堺工場を集約し稼働開始しています。その為に2012年度以前のデータがありませんので、2013年度は目標値を設定していません。
- 7 横浜工場の熱エネルギー使用量は今年度報告分より電気使用量を追加致しました。そのため2012年度以前の数値につきましても電気使用量を追加した数値に修正致しました。
- 8 横浜工場CO₂排出量の2012年度以前の数値に誤りがありましたので修正致しました。修正内容は過去の集計報告にはほとんど影響がありませんでした。

環境負荷データ

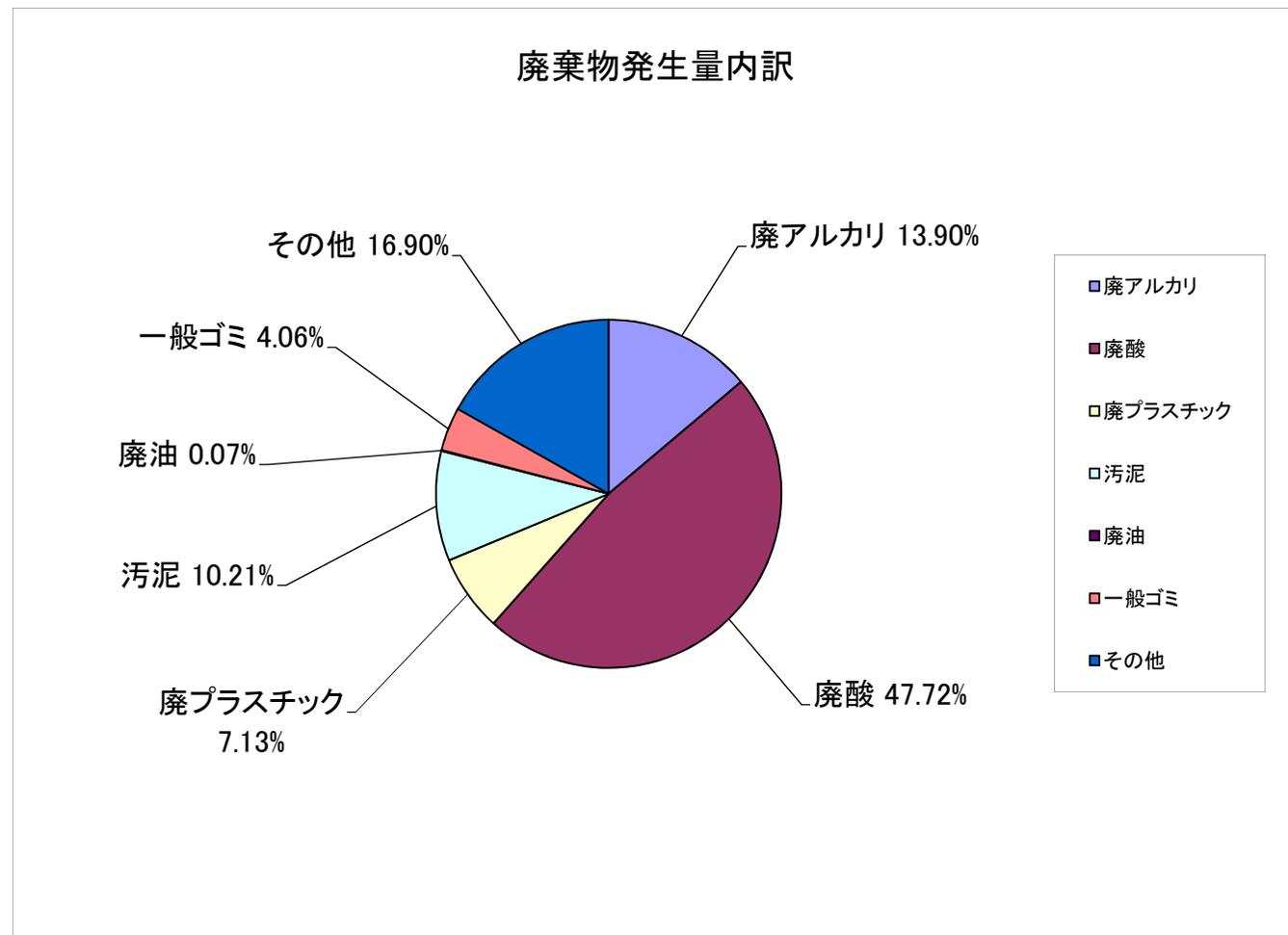
工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果					
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	COD	SS 浮遊物質	n-ヘキサン(鉱 油類)	n-ヘキサン(動 植物油類)
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
大阪工場	10,983,959	3,428	4,936	813	310	261	7.4(6.0-8.3)	9(15)	8(15)	1未満(-)	1未満(-)	1未満(-)
貝塚工場							7.6(5.7-8.7)	16(300)	61(-)	120(300)	1未満(5)	1未満(30)

CO₂排出係数: 0.358(電気)



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	113	13.90%
廃酸	388	47.72%
廃プラスチック	58	7.13%
汚泥	83	10.21%
廃油	1	0.07%
一般ゴミ	33	4.06%
その他	137	16.90%
合計	813	100%



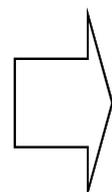
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
71	塩化第二鉄	95,622	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	12,560	0	250	0	0	250	0	0	0
300	トルエン	1,712	380	0	0	0	380	0	630	630
308	ニッケル	4,119	0	0	0	0	0	50	0	0
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	11,677	0	0	0	0	0	530	0	530
411	ホルムアルデヒド	1,546	0	0	0	0	0	0	1,500	1,500
	合計	127,236	380	250	0	0	630	580	2,130	2,660

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,098 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	7 kL
都市ガス	438 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	261 千m ³
基板コア材	206,168 m ²
段ボール	10 t
化学物質	
PRTR物質	127 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	4,936 t-CO ₂
水域	
海洋	132 千m ³
下水	89 千m ³
廃棄物	
再資源化量	310 t
最終処分量	503 t
PRTR物質移動量	3 t

製品	
プリント配線板	104,837 m ²

※出荷面積

環境実績報告 (Environmental results report)

Company name : Kyoden Thailand Co., Ltd.
Factory name : Thai Factory
Address : Factory2&3 (209 Moo 8, Yutthasat 331 Rd., Bowin, Sriracha, Chonburi 20230 Thailand)
 : Factory1 (34/4 Moo 8, Yutthasat 331 Rd., Bowin, Sriracha, Chonburi 20230 Thailand)
Report object period : 2013/4/1~2014/3/31
Report person in charge : Ms. Pasita Sukprasert (ISO/Document & Environment Ass't GM)

区分 (No)	テーマ (Theme)	目標 (Aim)	実績 (Result)	評価 (Evaluation)	2014年度目標 (Aim of 2014)
1	地球温暖化防止策 (Prevention of global warming)	CO2の排出量抑制 Carbon Dioxide (CO ₂) Concentration Consumption /1.80 Kg / m ²	1.76	O	1.80 Kg / m ²
2		電気エネルギー使用量抑制 Total electric consumption per unit (SEC) shall not over 39.00 kWh / m ²	39.77	X	44.00 kWh / m ²
3		ボイラー燃料消費量抑制 Boiler fuel consumption shall not over 30.00 SCF/m ²	29.34	O	30.00 SCF/m ²
4	省エネルギーの推進/水資源の削減 (Promotion of Energy Conservation/Reduction of water resources)	水使用量抑制 Water Resources Consumption / 0.65 m ³ / m ²	0.63	O	0.65 m ³ / m ²
5	地域調和活動 (Regional harmonization activities)	苦情発生の防止 Claim environmental neighbors must be zero	1	X	0

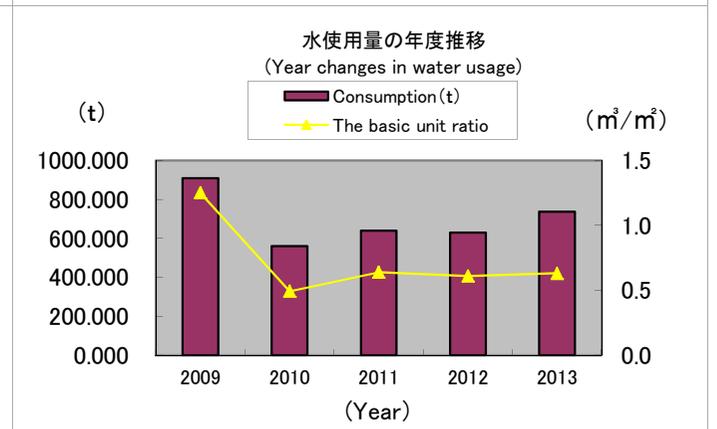
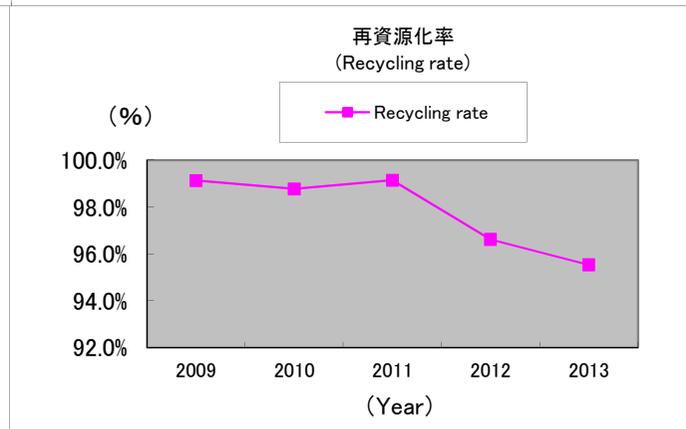
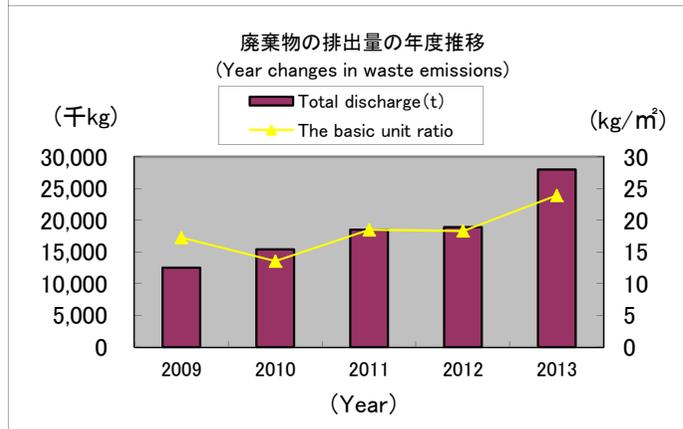
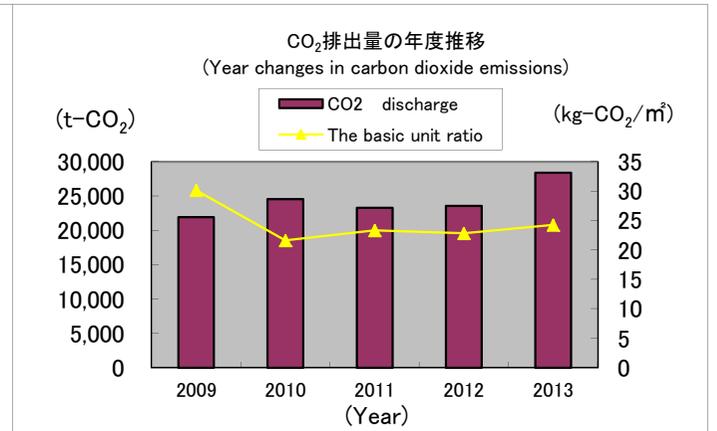
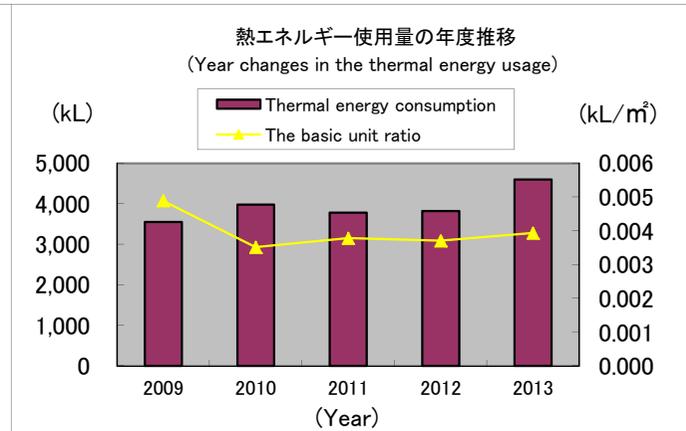
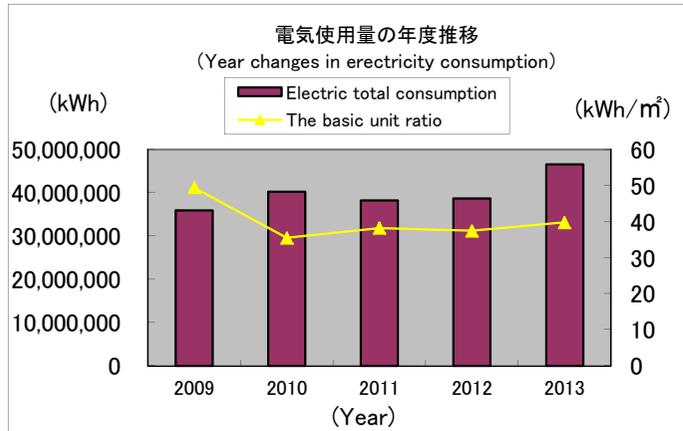
<Instructions in the report>

- 1 About a crude oil conversion factor and a CO2 emission coefficient, it varies according to an electric power company, the gas company of each factory.
- 2 About aquatic resources, the use source of a river of each factory is different.
- 3 Because laws and regulations vary according to the local government of each factory location about water quality measurement, a measurement item and the standard values are different.
- 4 About the atmosphere measurement, I exclude the factory without facilities targeted for laws and regulations from a report.
- 5 PRTR data of domestic plants is reported numerical value to each of the local government administration. For the PRTR Law unregulated, Thailand factory has been excluded from the report.
- 6 Osaka plant will be running start to aggregate Mihara factory Sakai plant in 2013. Since there is no data for 2012 for the previous, it does not set a target value is 2013.
- 7 Thermal energy consumption of the Yokohama plant have been added electricity consumption from this year worth reporting. We have modified the numerical value that was added to the electricity consumption also with regard to the number of years prior to 2012 for it.
- 8 Because there was an error in the value of the previous fiscal 2012 CO2 emissions in Yokohama Plant, was revised. It was the content has little effect on the aggregate report of the past result of a modification.

環境負荷データ(Environmental impact data)

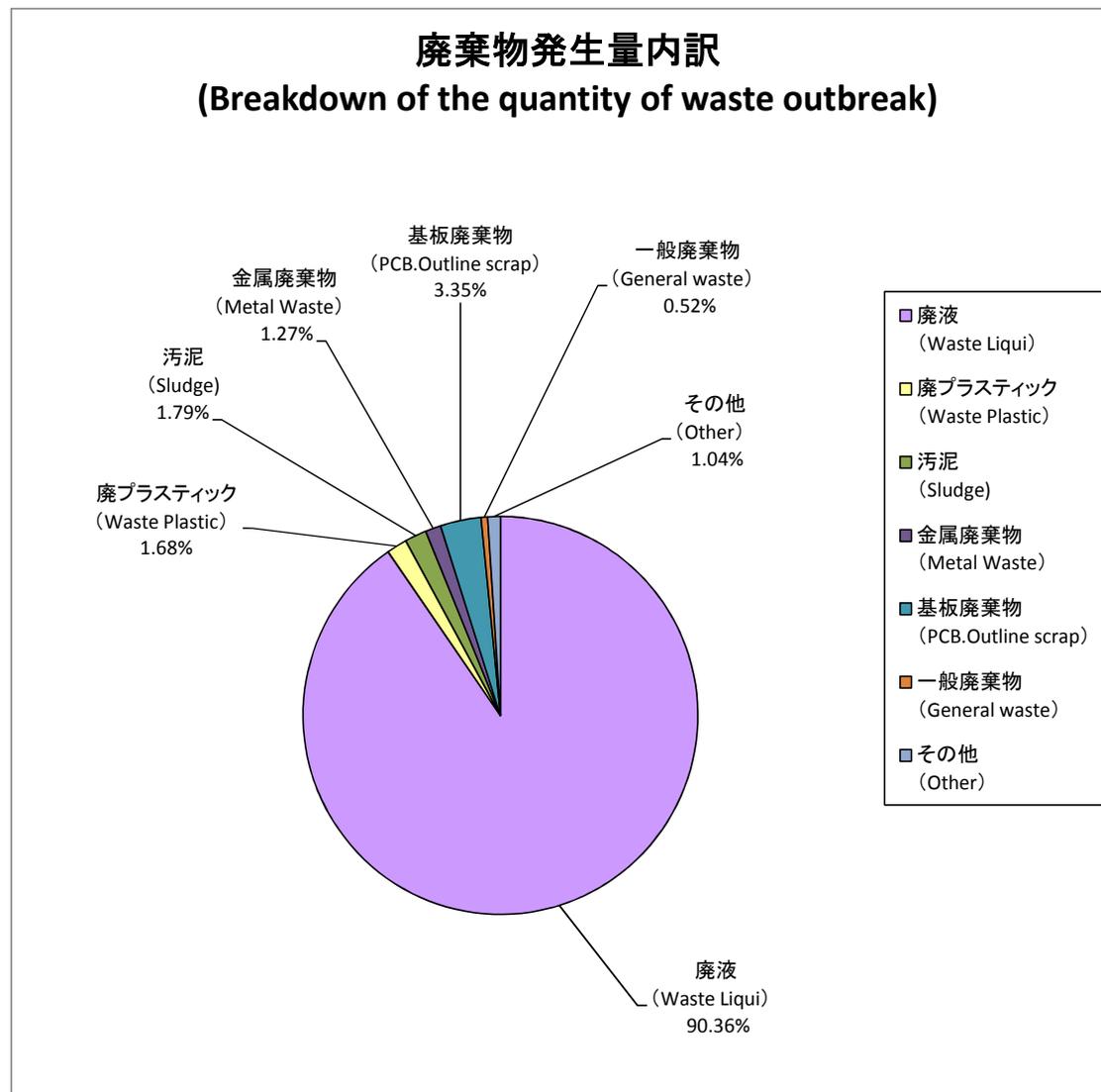
工場名 (Factory name)	エネルギー (Energy)			廃棄物 (Waste)		水資源 (Aquatic resources)	水質測定結果 (Water quality measurement result)			大気の測定実績 (The atmospheric measurement results)	
	電気使用量 (Electric total consumption)	熱エネルギー使用量 (Thermal energy consumption)	CO2排出量 (CO ₂ discharge)	総排出量 (Total discharge)	再資源化量 (Quantity of recycling)	市水 (Water for industrial use)	pH	BOD	COD	特定施設名 (Specific facilities name)	
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(t)	(t)	Consumption (千m ³)	-	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	ばいじん (Soot and dust) (mg/m ³ N)
タイ工場 (Thai factory)	46,581,400	4,604	28,380	27,987	26,735	738	7 (5.5-9)	36.25 (500)	135.5 (750)	23.65 (200)	1.98 (320)

CO₂Discharge coefficient:0.6093 (Electricity:電気)



廃棄物発生量内訳(Breakdown of the quantity of waste outbreak)

廃棄物名 (Name of the waste)	発生量 (Quantity of outbreak (t))	割合 (Ratio)
廃液 (Waste Liqui)	25,290	90.36%
廃プラスチック (Waste Plastic)	469	1.68%
汚泥 (Sludge)	500	1.79%
金属廃棄物 (Metal Waste)	355	1.27%
基板廃棄物 (PCB.Outline scrap)	936	3.35%
一般廃棄物 (General waste)	145	0.52%
その他 (Other)	292	1.04%
合計	27,987	100%



マテリアルバランス(Material balance)

INPUT	
エネルギー(Energy)	
電気(Electricity)	4,658 万Wh
重油(Heavy oil)	0 kL
灯油(Kerosene)	0 kL
軽油(Light oil)	0 kL
都市ガス(Gas)	439 km ³
LPG(Liquefied natural gas)	0 km ³
資源(Resources)	
地下水(Groundwater)	0 t
上水・工水(Water supply)	738 t
基板コア材(Board koa)	1,278,488.00 m ²
段ボール(Corrugated cardboard)	132 t



OUTPUT	
大気(Atmosphere)	
CO ₂	28,380 t-CO ₂
水域(Area of the sea)	
河川(River)	0 t
下水(Sewage)	517 t
廃棄物(Waste)	
再資源化量(Quantity of recycling)	26,735 t
最終処分量(Quantity of last disposal)	1,252 t

製品(Product)	
プリント配線板 (Printed wiring board)	827,477 m ²

※出荷面積 (Shipment area)